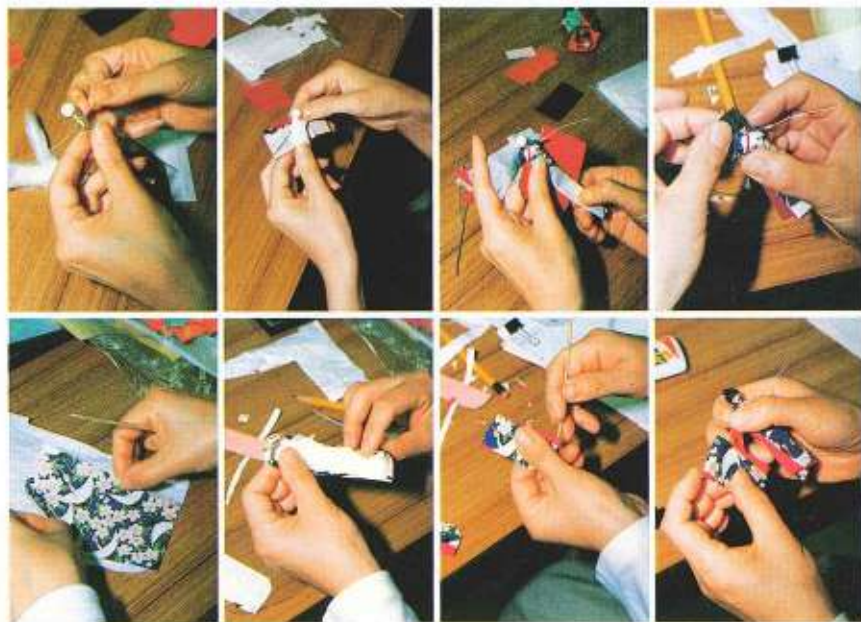
まい　あーと■織物「木」by 六角　久子

清水ゆり子さん(一番町2丁目)と彩(あや)人形づくりをたのしむ

ひとは古来、お人形を愛でるこころをもってきたが、あわただしい生活の現代にも受け継がれている。今月は日本人形に独自の工夫をこらした「彩人形」を清水ゆり子さんといっしょに作ってみよう。紙人形の中でも、和紙人形の美しさをそのままに手のひらにのる大きさを工夫した独創の彩人形。一見、パーツが多く、複雑そうにみえるが指導の斉木素子先生に付いていただいた場合、全くの初心者でも一時間半で完成することが出来た。

骨組みに綿で肉づけをする。その際、後で着くずれがないようにしっかりひもでしばるのがポイント。最後の髪の毛は、前髪の位置に注意。可愛く仕上げるためには、顔の3分の2が隠れるぐらいに固定する。

MADE IN EKUTEBIAN

メード・イン・えくてびあん

平成たちかわ「せせらぎ」考

— 小坂克信さんと歩く『柴崎分水』—

江戸の昔の立川人が暮しの水を手に入れるため、幾多の工事を重ねて設けた水路『分水』。玉川上水から取水される分水は、当時の生活にかかせない〝ライフライン〟でした。そして現代。二百年の時を超えても清流は健在。分水研究で知られる小坂克信さんと、『柴崎分水』を歩いてみました。うるおうことの大切さ、せせらぎを愛でる気持ちは今も昔も同じ。これからも上手に、上手につきあっていきましょうよ。

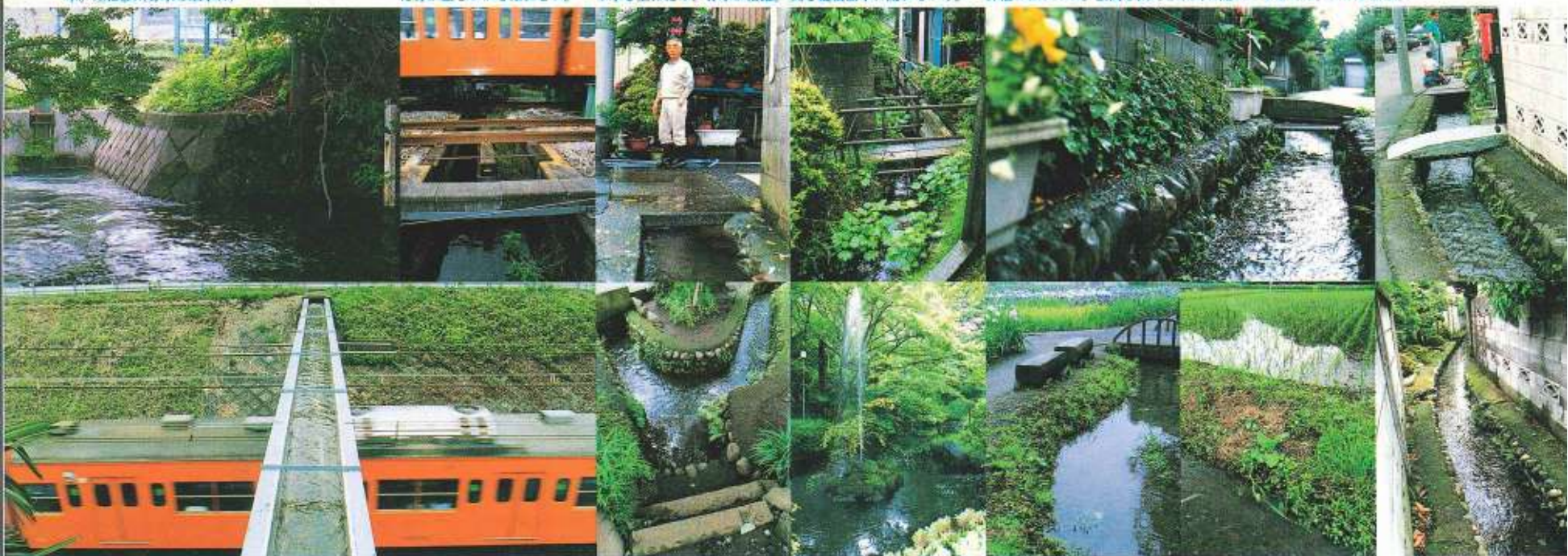
■小坂克信さん（錦町５丁目）は小学校の先生。こどもたちに生きた郷土の歴史を伝えるために、社会科の教材として玉川上水及び分水の研究をはじめる。が今ではその道の第一人者、〝分水のことなら小坂先生〟と呼ばれるほどに。「まちの中にせせらぎが残っているというだけで、なんだか豊かになるでしょう」。今年４月、新人物往来社から『玉川上水と分水』を上梓。立川市歴史民俗資料館研究員。

■分水はここから
昭島市との境、玉川上水にかかる松中橋（一番町）の下から分水は取水される。ここから上砂、砂川、昭和記念公園を抜けて、流れは南へ。（右が柴崎分水。左は砂川分水の取水口）

■富士見町
昭和記念公園の南側、青梅線の下を通る。いや、青梅線が分水の上を走っていると言った方が正しいかも知れない。

「魚を放したりしてもいいんじゃないの」富士見町５丁目の遠藤さん。植木鉢を洗ったり水を上げたり、分水が活躍。

流れを汚さず、絶やさず。住む人の心づかい。この家々の間を縦横無尽に流れていく。

鉢植にはナスが。玄関を出たら小川が流れてるなんて、いいよなあ。

■柴崎町
中央線を渡って、手前が柴崎町。鉄道の時代より以前から流れていたことがわかる。

普済寺境内の分水。

柴崎町４丁目、小川さん宅のお庭の池には、分水の水が使われていた。

立川公園・菖蒲園の脇。田んぼの水も分水から引かれている。

曲がりくねる水路は、かつてこの水が大切な生活用水だったことを教えてくれる。

地区	店名	住所	電話
羽衣町	中島豆腐店	羽衣町2-12-34	☎22-5723
羽衣町	和風レストラン 蔦屋	羽衣町2-27-14	☎26-3698
羽衣町	珈琲屋 らうむ	羽衣町2-27-9	☎26-3643
羽衣町	立川商店	羽衣町2-30	☎22-3565
羽衣町	泰明堂	羽衣町2-31-1	☎22-3353
羽衣町	文具の ないとう	羽衣町2-33-1	☎22-3677
羽衣町	洋菓子サロン ケーキスタジオ35	羽衣町2-6-1	☎27-6808
羽衣町	おそのい時計店	羽衣町2-32-2	☎22-5211
栄町	多摩中央信用金庫 栄町支店	栄町2-66-1	☎36-9711
栄町	手打ちそば 信更	栄町5-12-1	☎37-0991
栄町	相模屋酒店	栄町5-61-8	☎36-2476
栄町	森田接骨院	栄町6-6-25	☎35-6240
錦町	高木健康回復センター	錦町1-6-21	☎21-0289
錦町	和菓子処 ゆうき	錦町1-8-5	☎25-0780
錦町	むぎばたけ	錦町2-1-1	☎26-0210
錦町	池田屋商店	錦町2-1-10	☎22-3731
錦町	寿屋酒店	錦町2-1-13	☎22-3625
錦町	三田花店	錦町2-5-23	☎24-4187
錦町	立川市市民会館	錦町3-3-20	☎26-1311
幸町	ロッテリア 立川砂川9番店	幸町4-38	☎37-4413
幸町	たちばな	幸町6-1-12	☎37-0347
高松町	自然食 ぱれあな	高松町2-1-23	☎24-4560
高松町	多摩画材	高松町2-1-25	☎22-6031
高松町	洋菓子 マリアン	高松町2-10-22	☎24-3912
高松町	山梨中央銀行 立川支店	高松町2-16-13	☎26-1571
高松町	宝泉菓子店	高松町2-27-3	☎26-1736
高松町	丸助青果店	高松町2-4-18	☎22-3542
高松町	肉の専門店 伊勢屋	高松町2-6-20	☎24-2734
柴崎町	ほわいとはうす	柴崎町2-9-28	☎24-1610
柴崎町	ビジネスホテル クボタ	柴崎町2-12-23	☎22-1122
柴崎町	いなげや 立川南口店	柴崎町2-12-24	☎26-2947
柴崎町	寿司由	柴崎町2-2-8	☎22-3733
柴崎町	モリタニ漢方薬局	柴崎町2-2-10	☎25-1193
柴崎町	(有)関田酒店	柴崎町2-2-17	☎24-2960
柴崎町	ユウ都市企画	柴崎町2-3-13	☎28-2566
柴崎町	ラ・バンバ	柴崎町2-3-3	☎24-5800
柴崎町	LIQUR SHOP はなむら	柴崎町2-3-9	☎22-2491
柴崎町	オーロール焼きたて 立川店	柴崎町2-4-15	☎27-9473
柴崎町	北京大飯店	柴崎町2-4-19	☎22-6393
柴崎町	ななや	柴崎町2-4-22	☎25-6980
柴崎町	田中星美堂薬局	柴崎町2-5-3	☎22-3913
柴崎町	菊川園	柴崎町2-5-6	☎26-2035

続々刊行 えくてびあん別冊群

さようなら昌平さん（近刊）
■故砂川昌平氏追悼。〝昌平イズム〟に間近に接した17人の筆による「贈る言葉」

ヒサダの骨頂（近刊）
■野性動物写真家、久田雅夫。肩に写真機、懐にロマン。夢抱く立川男児よ、読むべし。

われら立川人（既刊）
■本誌創刊10周年記念別冊。総ページ数132！あの人この人、みんなこの街の宝です。

いくつになってもうたごころ（既刊）
■歌人・若山旅人の誕生は還暦の年。今や日本歌壇の重鎮、その詩ごころの源泉を訊く。

ご存じですか？　えくてびあんに別冊があったことを。〝ここにこの人がいる！〟この叫び、月刊だけでは事足りずに、出してるんです。今後も続々刊行予定。お求め・お問い合わせは、えくてびあん編集工房まで。お電話でどうぞ。

幸公民館開館5周年「かわせみ祭'95」に出現した宮澤賢治の世界

チェロの調べに「セロ弾きのゴーシュ」が朗読される（語りは市瀬寿子さん）

松下さんのお嬢さん、修子さんは国立音大生、二重奏で共演。

和洋の名曲を次々と（ピアノは鈴木永子さん）

松下修也さんは元N響主席奏者。賢治に思い入れ深く。

赤川政由もかけつけた。奥さまのさとうその子さんとご一緒に。

館内の装飾はすべて▶職員のみなさんの手づくり

宮澤賢治愛用の▶チェロ（資料提供：宮澤賢治記念館）

セロ弾きのゴーシュと祝う5周年

幸公民館職員・伊藤隆之さんは今日も考えを巡らせていた。目前に迫った開館5周年記念行事、皆んなに喜んでもらえるすごい企画はないだろうか…。首をかしげる伊藤さんの瞳に、玄関脇のあの銅像が映った。〝これだ！〟次の瞬間、伊藤さんは受話器を握り、あのチェロ奏者の電話番号を探していた。

あの銅像とは、言わずもがなあのセロ弾きの像。作者はご存じ、われらが赤川政由さん（高松町）。今やこの像、同館ののシンボル的存在。そしてあのチェロ奏者とは、松下修也さん。かつて同館を訪れた際、件の像に感銘を受け、伊藤さんに〝いつかここで演奏する〟と約束した元N響首席奏者。「よし、テーマは宮澤賢治、セロ弾きのゴーシュだ！」伊藤さんが指を鳴らした…。

幸公民館のシンボル、セロ弾きの像。もちろん赤川政由さんの手によるもの▲

平成2年6月、立川市で6番目の公民館として誕生した幸公民館。その5周年を祝うイベントとして企画されたのが〝かわせみ祭〟だ。6月17日から9日間にわたって行われたかわせみ祭。日頃同館を利用する市民グループや文化サークルの展示、演劇などの発表、そのほとんどがあるひとつのコンセプトのもとに行われた。

それは「宮澤賢治」――。

◆

全体の企画を担当したのは同館係長の伊藤隆之さん。

「幸公民館ってどこでしたっけという方でも、あのセロ弾きの銅像の…と言うとわかって下さる。あの銅像はすでにここのシンボルなんですよ」

赤川政由さん（高松町）の手によるセロ弾きの銅板彫刻。公民館の玄関前に静かに、しかし凛として建つこの銅像が、宮澤賢治の「セロ弾きのゴーシュ」をイメージしていることから、このコンセプトは生まれた。

初日、かわせみ祭の皮切りに行われたのは、演劇企画くすのきによる『語り芝居』。〝どんぐりと山猫〟〝やまなし〟〝よだかの星〟の三本が上演される。初日にしてすでに、かわせみ祭は、あの無国籍で幻想的な賢治の詩情で一杯になってしまった。

◆

そして迎えた24日。かわせみ祭のクライマックス『チェロと語りによるコンサート』がいよいよ始まる。出演者はチェロ奏者の松下修也さん。N響主席奏者を勇退後も、全国で精力的に演奏活動を行う松下さん。丁度、宮澤賢治をテーマにしたCDを制作中のところ、この企画の話がまい込んだ。

「以前ここにお邪魔した時に、玄関のあの銅像に感動してしまって。セロ弾きのひとりとして嬉しくなってしまった。機会があれば又ぜひ、ここで演奏したいと思ってたんです」

賢治が自分の童話の主人公が弾く楽器にセロ（チェロ）を選んだということ。ピアノでもなく、バイオリンでもない、チェロにしかないロマン…。開演前の慌ただしさにも関わらず、賢治への想いを熱く語ってくれた。

◆

満場の客席には赤川さんご夫妻の姿も。挨拶に立つ伊藤さんも嬉しそう。さあいよいよ開演。「きっとみんなの本当のさいわいをさがしに行く」銀河鉄道の夜の一節。――ここは幸公民館だ。

〔お詫びと訂正〕
先月号の本欄記事『空襲を語ることは未来を語ること』の中で誤記がありました。本文下段二十五行目、小沢長治氏の発言の中に「花火工」とあるのは「火工廠」が正記です。小沢氏始め関係各位にご迷惑をおかけいたしました。お詫びして訂正させていただきます。

開演30分前

立川のとなりの国立に、ライブハウス『リバプール』を開店して、早いものでもう十四年になります。

ライブハウスとは何か解らない方は、かつてのジャズ喫茶の現代版と考えていただければ、と思います。

今日までの十四年間で、のべ一万四千から一万五千のロックバンドやアコースティックグループが、このステージに立ちました。今、この文章を書いている横でも、今夜の出演バンドがリハーサルに励んでいます。

よくマスコミの方や、お客様から「今までにどんなグループが出演しましたか」と聞かれると、聖飢魔II、ユニコーン、憂歌団、ビジーフォー…などといった、沢山の有名なグループの名前をあげてしまいます。

でも、私にとって一番うれしい出演者は「リバプールのステージに立つのが夢だった」と言ってくれるグループです。

そういうグループはたいがい、学生や仕事を持っている人たち。仲間で時間を都合しあって練習するので、練習不足の感が否めません。初めてのステージではあがってしまい、ミスを連発したりと、ミュージシャンとしての技術はまだまだというところもありますが、音楽をやること、自分を訴えたい、生きるエネルギーを燃やしたい、そういう気持ちは、どのプロにも負けないように思います。

高校生の頃に出演したことのある青年が、何年ぶりかで、「実は今度結婚することになりまして、思い出のリバプールでパーティーをしたいのですが」なんて、突然顔を出されると、びっくりしたり、嬉しくなったりで…。あの頃のつっぱっていた顔はどこに置いてきたのか。思わず「大人になったなー」なんて言ってしまいます。

結婚祝いのパーティーも、もうすぐ四百組。この店で知り会って結ばれたカップルも沢山いて、キューピッドがこの店にいるのかな、などと思ったりもして。

一生のうちどの時期も、二度と来ることはないが、若い頃、特に十五、六から二十才位の間は、人生の中でも何でも出来るし、好奇心が強く、友だちも沢山できます。しかしその反面、心が不安定で、社会や親への反抗心も強く、複雑な年代だと思います。

その年頃に大好きな音楽と出会い、恋をしたり、仲間を作り、自分の未来に向かって様々な事を学んだり、考えたり、そして悩んだり…。

そういう時期に、この店がその人の人生に少しでも関わることができたらと思うと、それだけでこの店を続けて良かったし、またこれからも間違ったことはできないと思う。今日この頃です。

ただ今、ちょうどリハーサルが終わり、開場時間になったところ。

楽屋の中では、緊張をまぎらわすために演奏前からビールを飲みはじめたグループ、男なのに一生懸命お化粧をしている人、歌詞を忘れないようにと、本番前から大声で歌っているバンド…。

今日、そして今という時間を生き、演奏中ミスがあっても最後までやり通す。今日のステージは、今日一回だけ。

そんな緊張が〝ライブ〟＝生きているということなのかも知れません。

三十分後が、本番のスタート時間です。

えくてびあんエッセイ●No.31

地区	店名	住所	電話
柴崎町	café コロラド	柴崎町2-5-8	☎26-2285
柴崎町	スタジオ269	柴崎町2-8	☎27-0269
柴崎町	東陶房	柴崎町2-9	☎25-0079
柴崎町	ロッテリア 立川南口店	柴崎町3-1-3	☎22-3928
柴崎町	笠井紙店	柴崎町3-13-24	☎22-8601
柴崎町	矢沢歯科	柴崎町3-16-2	☎25-6600
柴崎町	割烹 紀ノ川	柴崎町3-4-3	☎25-5825
柴崎町	ラ・フィネ	柴崎町3-5-2	☎25-2179
柴崎町	ヨシダ貴金属店	柴崎町3-5-4	☎22-2448
柴崎町	東京相和銀行 立川支店	柴崎町3-6-17	☎22-2171
柴崎町	オリオン書房	柴崎町3-6-27	☎25-3111
柴崎町	あさひ銀行 立川支店	柴崎町3-6-29	☎22-4161
柴崎町	イスパニスタ	柴崎町3-6-3	☎22-2969
柴崎町	入船寿司	柴崎町3-6-32	☎22-2474
柴崎町	サンカメラ	柴崎町3-7-22	☎22-3336
柴崎町	ラーメン竜馬	柴崎町3-8-2	☎27-7575
柴崎町	東京都民銀行 立川支店	柴崎町3-9-21	☎22-7107
若葉町	美容室 リラ	若葉町1-11-1	☎36-3048
若葉町	みふじサイクル	若葉町1-12-4	☎36-7166
若葉町	紀ノ国屋 立川店	若葉町1-13-2	☎36-1604
若葉町	エッソ石油 けやき台ステーション	若葉町2-1	☎35-3081
曙町	大晋商事	曙町1-23-9	☎25-3110
曙町	オリオン書房 ルミネ立川店	曙町2-1-1	☎27-2311
曙町	ビューティータナカ ルミネ立川駅ビル店	曙町2-1-1	☎27-6917
曙町	八王子赤十字血液センター 立川出張所	曙町2-1-1	☎27-1140
曙町	朝日カルチャーセンター 立川	曙町2-1-1	☎27-6511
曙町	ロッテリア 立川ルミネ店	曙町2-1-1	☎24-7433
曙町	オルゴール・雑貨 グーシーハウス	曙町2-3-7	☎25-2588
曙町	立川リージェントホテル	曙町2-11-7	☎22-1133
曙町	松下珠算塾	曙町3-33	☎25-1671
曙町	ホワイトハウス フロム中武	曙町2-11-2	☎25-8558
曙町	ケンタッキーフライドチキン 立川支店	曙町2-12-16	☎28-2636
曙町	伊勢丹 立川店 受付	曙町2-12-2	☎25-1111
曙町	三菱銀行 立川支店	曙町2-13-3	☎24-4121
曙町	トポス 立川店	曙町2-18-18	☎25-0331
曙町	オリオン書房 第一デパート店	曙町2-2-25	☎23-3311
曙町	印章の 宝山堂	曙町2-4	☎25-0111
曙町	アルビヨン	曙町2-4-28	☎25-3824
曙町	お菓子の家 エミリーフローゲ	曙町2-4-28	☎27-4138
曙町	アンキャフェ・エミリー・フローゲ	曙町2-4-30	☎26-1818
曙町	クリムト	曙町2-4-30	☎26-3030
曙町	第一勧業銀行 立川支店	曙町2-4-30	☎22-5151
曙町	シェ・タスケ	曙町2-5-14	☎27-5959
曙町	さくら銀行 立川支店	曙町2-6-11	☎22-2151
曙町	サヴィニ	曙町2-7-10	☎25-1662

表紙は語る　まい あーと　織物『木』by 六角久子

美大卒業後、商業デザイナーとして活躍。しかしなんとなく心に残っていたのは、予備校時代の先生の言葉。「君は工芸の方が向いているよ…」漠然とした創作への想いが、はっきりと形となって見えたのは北欧旅行。スウェーデンの地で見た〝手織機〟の姿が、六角さんの心をとらえた。

「夜が長いあの国では、女性たちが織物を作って夜を過ごすのが習慣。手織機が生活、文化にとけ込んでいるんです」北欧の話をすると瞳が輝く。

7年前に木製の手織機を購入。もちろんメードイン〝スウェーデン〟。自然や身の回りの親しみやすいものをモチーフに作品を作っている。「あなたらしいって言われるものを創っていきたいですね」瞳がまたキラキラ。

4月、アートサロン四季「二人展」から。

真如苑だより

夏休み本番。こどもたちも元気に遊んでいます。夏のこどもと言えば後ろには蝉の声がつきものですが、最近は中々聞けません。こどもたちは「蝉時雨」なんて言葉、知ってるのかしら。

8月もどうぞ、真如苑にお出かけください。冷房完備ですよ。

■日時　8月19日(土)　2時～4時

■御本尊、真如宝物館をはじめとして映画など盛りだくさんの用意がしてございます。

■お申し込みは「えくてびあん・コンパニオン」（本誌を手渡してくれた人）へ。

東風

考えてみれば、名作を自分で発見した人など、ほとんどいないであろう。どの分野の作品でも「有名だから」という理由で鑑賞している。振り返って何だか恥ずかしい気もするが、今後も「有名だから」読んだり聴いたり見たりすることであろう◆ベートーヴェンを聴いて感動するのではなく、ベートーヴェンと知って聴く。ゴッホの絵と知って、感動しなおす。宮澤賢治の場合も同様であった。第一、賢治は「作家」ではなかった◆いや、最も純粋な意味でいえば堂々の「作家」であった。が、生前に世に発表された作品はほとんどなく、私家版かトランクの中に埋まっていた作品ばかり。が、今日ではブームと云ってもいい程に三人寄れば「賢治」である。全集も幾つも改版が出ている◆鑑賞家には「追随型」と「発見型」があるようだ。賢治を「発見」したのはどなたなのであろうか。今年もまた、劇団『くすのき』によって『ツエねずみ』『双子の星』『カイロ団長』『どんぐりと山猫』『よだかの星』など、多くの作品が市民会館の地下展示室で上演される。『くすのき』代表の大多和勇さんと話していたら、毎年、演るたびに賢治作品には「発見」があると云っていた。この読み捨て時代に賢治を味わい尽くす、なんと贅沢なことであろうか。そして賢治の第一発見者は？◆えくてびあん　新刊の背に　大き文字。

（編集）池田隆男　牛田新一　小杉和己　小林康史　稲川理　名尾辰真　岩井正弘　町田健一　山田恵子　松本わかこ
（写真）天野武男　板橋一明　井上義治　スタジオ269　中村伸　五来孝平

月刊えくてびあん　第133号
平成七年八月一日発行
発行所　えくてびあん編集工房
東京都立川市曙町2-17-5　杉田ビル6F
電話　〇四二五(28)〇〇八二
FAX　〇四二五(28)一二九七
編集発行人　立井啓介
印刷所　(株)大髙社

ウォッチング

常夜燈

先月号のこの欄で木の電信柱を紹介したところ〝オレだってまだ生きてるぞ〟とばかり目に飛び込んできた石塔。江戸時代の外燈、常夜燈です。柴崎町1丁目、旧の奥多摩街道の北、街道に平行して走る通り沿いに3基建っています。現存しているのはこれだけ。歴史民俗資料館研究員・小坂さんによると、かつてこの道は当時の名主さんの門に通じる道。そういう道にいわば〝町内会〟の管理のもと建てられたそう。夜に常に灯もすと書く常夜燈。夜が闇だった頃の街の遺跡。

WATCHING

新連載

多摩川の朝 1

写真：鈴木克吉
短歌：野村吉茂

夜の精が
霧らへば川も
横山も
勿忘草の
いろに移れる